

蒸し暑い毎日が続きますね。皆様にはコロナウイルス感染対策についてご理解ご協力頂きまして大変ありがとうございます。全国ニュースにもありましたが、コロナの他手足口病が流行っていますね。保育園でも流行ってきました。夏風邪と言われ、「夏の三大感染症」の一つです。

手足口病

- ・潜伏期間3～6日
- ・手のひら、足の裏、口の中にぷつぷつと水ぼうやや赤い湿疹が出る
- ・口の中の痛みにより、食事や水分が取れず脱水症状を起こすことがある
- ・熱が出ることもある
- ・登園の目安は「発熱や口腔内の水ぼうやの影響が無く、普段の食事がとれること」



ヘルパンギーナ

- ・潜伏期間3～6日
- ・39度以上の熱が1～3日続き、のどが赤くはれ、水ぼうやがたくさんできる
- ・のどの痛みで食欲がなくなり、脱水症状を起こすこともある
- ・登園の目安は「発熱や口腔内の水ぼうやの影響が無く、普段の食事がとれること」



咽頭結膜熱（プール熱）

- ・潜伏期間2～14日
- ・のどの痛み、目の充血、発熱が主な症状である
- ・アデノウイルスによる感染症である※（裏面参照）
- ・登園の目安は「発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること」



この「夏の三大感染症」はそれぞれ原因となるウイルスが複数あるため、何度もかかる可能性があります。また、症状回復後もウイルスが咳や鼻水から1～2週間、便から2～4週間排出されるため注意が必要です。手洗いを徹底しましょう。



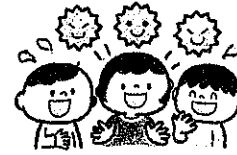
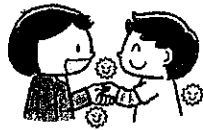
これらの診断をされた場合は保育園にお知らせください。登園の再開にあたっては登園許可証が必要となっております。

※アデノウイルスについて

何種類もウイルスの型があり、プール熱の他様々な症状で何度もかかることがあります。

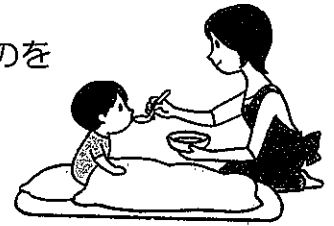
- 流行性角結膜炎（はやり目）……目の充血、多くの目やにや涙に加え、リンパ節の腫れや痛みを伴います
- 呼吸器の症状や下痢おう吐といった胃腸炎症状もあります

保育園では、日々子供たちが触れるものを掃除、洗浄し適宜消毒を行っておりますが、集団生活の為、感染を避けることは難しいのが現状です。



かかってしまった時のお家でのケア

- 口の中が痛い時は、濃い味は避け、やわらかくかまずに飲み込めるものを食べさせましょう（ゼリーやプリン、冷めたおじや、豆腐など）
- こまめに水分補給をして脱水にならないよう注意しましょう（ジュースはしみるので、麦茶や牛乳、冷めたスープなど）
- 体に発疹があっがかゆがる時は、ハンカチで包んだ保冷剤などで冷やすとかゆみが和らぎます
- 目やにが出る時は、ティッシュで拭き取りすぐ捨て手をよく洗いましょう



これらの夏風邪は大人にも感染することがあります。疲労や寝不足などで免疫力が低下している時かかりやすくなります。主に、感染した子供から感染することが多いです。そのような時は、無理をせず十分な休息をとしましょう。

コロナウイルスも感染拡大しておりますので、風邪症状がみられましたら早めの受診をお願い致します。

今年の夏は色々な風邪が流行っていますが、しっかり心と体を休めて、この夏を乗り切りましょう。

